



たばこまち

青森市立荻町小学校 学校だより 第11号 令和2年1月23日

学校の教育目標
進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

自信に支えられた「やさしさ」を育てる3学期に！

校長 木村 典克

「男はやさしくなければ生きていけない。また、強くなければ生きていく資格がない。」
というような言葉を耳にしたことはありませんか？特に「やさしい」は、現在も結婚時に要求される『男の条件ベスト3』に必ずといってよいほど出てくる資質（今の時代…性別に関係なく適用されるのでしょうが…）です。では、どうすれば、やさしさを獲得できるのでしょうか？



話は全く変わりますが、私は【イルカ】のファンです。フォークシンガーの方ではなく、哺乳類クジラ目マイルカ科の【イルカ】です。子どもの頃にアメリカのTVドラマ『わんぱくフリッパー』を見て以来のことなので、イルカファン歴45年以上になります。

教員新採用1年目に3年生を担当していたとき、国語の教科書に『イルカの会話』という説明文が掲載されていました。イルカファンを自負していた私は、この教材で子どもたちと楽しく勉強する自信に満ち溢れていました。まるで「水を得た魚…ならぬ、水を得たイルカ」という状態…。さっそく、子どもたちと楽しく勉強するための教材研究をはりきってはじめました。

しかし、研究をすればするほどイルカの生態や習性に対する疑問点ばかりが出てきてしまい、自分では解決できないばかりか、授業に対する不安感が心の中に広がっていきました。このままでは自信をもって授業ができない。教科書通りのつまらない授業（…と言いつつ、実は教科書通りにもできない超初任者であることは、チョットわきに置いておいて…）はイヤだ。大好きなイルカのことなのに何もできないことを悟った私は、学年主任（この人がまたものすごく授業にこだわる熱心な？変人？授業オタク？…それなのに、現在『野辺地町教育長』でして…）と相談し、浅虫水族館に連絡を取ってみることにしました。



「いつでもどうぞ。」という言葉に甘えて、ノコノコ出かけて行きました。浅虫水族館に着いて、裏の事務所から入り、飼育係の方に飼育用水槽へ連れて行ってもらう、待望のイルカ様とご対面！自由に触ったり、エサをあげさせてもらったり、イルカファンとしては究極の喜びを味わわせていただきました。不謹慎かもしれませんが、授業のことなどすっかり忘れて楽しい時間を過ごすことができちゃいました。〈役得〉ってヤツですネ。

飼育係の方の温かい対応にも心を打たれました。自分の仕事ですらものすごく忙しいはずなのに、初対面で、しかも国語の教科書を持ってウロウロしているこの馬の骨かわからないような人間（一応、教員ということは書いていましたが…）に対して、やさしくいろいろなことを教えてくれました。さらに後日、貴重な資料をわざわざ学校へ郵送していただきました。この人たちは、本物のプロだなあと感じさせられました。自分の仕事に自信をもっているからこそ、やさしいのです。

この日以来、私は【イルカ】の他に【浅虫水族館】と【飼育係】のファンにもなったのです。今から30年も前の話ですが、浅虫水族館の飼育係の方との素晴らしい出会いのおかげで、やさしさ獲得の条件の一つは、自分に自信をもつことだということに気がついたのです。

では、子どもたちにどうやって自信をもたせるか？難しいですね。いまだに子どもたちが自信をもてるような（もしかしら、管理職でありながら、先生方に対しても…ですかネ？）接し方や話し方については、本日現在も修行？修業？中…道半ばでございます。

令和2年も、すでに1ヶ月が過ぎようとしています。3学期はまとめの学期！短い期間ですが、自信とやさしさをもって進学・進級できるように、チーム荻小：全教職員が『ONE TEAM』となって、**学校・家庭・地域、そして社会の宝物**である子どもたちを応援していきます。

1月のニュース

暖冬で スキースロープつくれず

荻町小学校のスキー学習にも影響が出てきました。例年、グラウンドに雪を積みスキー用のスロープを作っていたのですが、今年は断念することになりました。今後、下学年はもともとのスキー山を利用しスキー学習に取り組み、上学年は雲谷でのスキー教室でたっぷり滑り今シーズンを終了する予定です。



部活動のクラブ化 新たな動きが

年末の12月29日の東奥日報朝刊で目にした方も多と思いますが、部活動のクラブ化に向けて浦町中学校区学校運営協議会では、スポーツクラブ創設に向けて話し合われているところです。荻町小学校としては、学年が異なる子どもたちがスポーツ活動をとって成長することを願って部活を開いているところですが、児童減少が進む中、その役割を終えたいと考えています。今後は、子どもたちがスポーツに親しみ、いろいろな人たちと関わり合い成長できるよう、クラブの移行に協力していきたいと思っています。保護者の皆様には、参観日において説明いたします。

「(仮称)青森市中央部スポーツクラブ(Central area of Aomori Sports Club)」創設に向けて(案)

本部 浦町中学校区学校運営協議会～(仮称)健康増進部会～

●事務局長:工藤知久子さん (仮称)学校支援部会
○事務局員:渡辺聡明さん、吉町泰子さん、上野仁美さん、杉木善昭さん

◆部会長:久保田聡
■副部会長:載本一

市教委及び経済部地域スポーツ振興課

CASC加入の承認

CASCを創設する上でのコンセプト
国が推奨する「総合型地域スポーツクラブ」の趣旨を踏まえ、スポーツ(将来的には文化活動も加える)を通して子どもの健全育成を図ることで、地域創設の一翼を担う。
各クラブの自主的かつ創意工夫した活動を尊重するため、本部の業務は、関係機関等との連絡調整を主なものとする。

既存	ACZ(サッカー)	卓球クラブ	陸上クラブ	その他
※今後は傘下の可能性有り	(1)会長、(2)コーチ、(3)マネージャー、(4)会計、(5)監事は、久保田、長谷川さん、中西さん	(1)会長、(2)コーチ、(3)マネージャー、(4)会計、(5)監事 ※会費、会則等	(1)会長、(2)コーチ、(3)マネージャー、(4)会計、(5)監事 ※会費、会則等	
浦中	サッカー	卓球	陸上	野球、バスケ、バレー、テニス、ソフト、剣道、水泳、バド、合唱、科学、美術
堤小	希望者	卓球	希望者	野球、ミニバス、カーリング、合唱
浦小	希望者	卓球	希望者	野球、ミニバス
荻小	希望者	卓球	希望者	
橋小	希望者	卓球	希望者	
その他	希望者	希望者	希望者	

CASC創設準備委員会について

- 目的 関係委員が一堂に会し、実現に向け本格協議する。
- 目標 今年度内に、CASC創設の上、クラブを設置する。
2月4日開催の第6回CS会議で、草案を示したい。
- 参加者(敬称略) 新岡、工藤知久子、渡辺、吉町、上野、杉木、久保田、載本
学校から石岡、藤田、柴田、木村、米坂の計13名
- 場所 浦町中学校会議室
- 開催日 ※当面、2月4日まで2回予定
【第1回】1月20日 開始時刻…17時
なお、第2回は1回目終了後に決定する。
- 当委員会事務局 浦町中学校教頭が担当する。

2月の行事予定 ※SC～スクールカウンセラー、ALT～外国語指導助手

日	月	火	水	木	金	土
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
		全校朝会	ALT委員会	読み聞かせ(6年) SC 浪打中入学説明会		
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
		建国記念の日	ALT 荻町小入学説明会	新委員会組織会 職員会議	なわとび検定 浦町中入学説明会	
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
卓球部大会	特訓	児童集会(委員会引継式)	特訓 ALT	特訓	参観日 引落日 特訓	
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
天皇誕生日	振替休日	全校朝会	ALT 漢字計算チャレンジ	清掃週間開始		

3月の主な行事予定

6日：6年生を送る会 19日：卒業証書授与式予行 24日：卒業証書授与式 26日：修了式、離任式